コード

1 PLAN(目的·概要)

一般事務事業

施02事301

政策名		物流·産業	26年度事業·施策評価結果			責任者	港営部
	施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成		成果	コスト	貝讧伯	誘致推進課長
	事務事業名	名古屋港背後地域への企業誘致	継続	維持	維持		052-654-7835
	110 (54 (54)		112-120			連携課	
	対象(誰・何を)	名古屋港利用者	事業				
目的	意図(どういう 状態にしたいか)	関係機関による名古屋港背後地域への企業誘致を支援すること	期間	昭和44年度~継続			
	概要	愛知・名古屋国際ビジネスアクセスセンター(I-BAC)、愛知県産に協力するとともに、名古屋港背後地域において企業誘致を推定のPR活動を行います。	根拠 法令等				
27年度の実施予定		I-BACの実施する外資系企業ネットワーク懇談会や、愛知県産業る東京セミナー等への事業協力に加え、岐阜県内、長野県内、	実施義務	□有☑無			
		推進する市町村に対し、名古屋港のPR活動を予定しています。 				シート	

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果 I-BACの実施する外資系企業ネットワーク懇談会や、愛知県産業立地推進業議会が実施する東京セミナー、産業立地キャラバン等への事業協力に加え、長野県内、岐阜県、滋賀県内及び福井県内の企業誘致を推進する市町村に対し、名古屋港のPR活動を実施した。

コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	581	453	449	494	
人件費	千円	7,534	7,576	7,670	7,593	
合計	千円	8,115	8,029	8,119	8,088	

3 CHECK(検証)

O OI IEOI (1)	·										
指標名		25年度	26年度	27年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因			
企業立地などを目的とし たセミナー等にて名古屋	目標		- 4	4		4	関係機関が実施するセミナー等に参加し、名古屋 港のPR活動を行う。				
港のPR活動を行った回数(回)	実績		4 4	4			①愛知県産業立地セミナーIN東京 ②愛知県産業立地キャラバン尾張				
(単年度管理型)	事業進捗状況(27年度)			目標値を上回る 目標値をやや下		標値どおり 課値を下回る	③愛知県産業立地キャラバン三河 ④外資系企業ネットワーク懇談会				
企業立地担当者訪問数	目標		- 15	15		15	-名古屋港背後地域において企業誘致を推進				
(件)	実績		17 17	15			している自治体(約60)に対し、名古屋港のPR 活動を4年間で実施する。				
(単年度管理型) 事業		美進捗状 況	進捗状況(27年度)		目標値を上回る 目標値どおり 目標値をやや下回る 目標値を下回る		加到です中間で大胆する。				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた) PR活動回数、企業立地担当者訪問数のいずれの指標も目標を達成することができました。											
必要性·有効性·効率性	生の検証	評価	評価に関する説明								
必 らない事業か?				THE TOTAL CONTRACT OF							
事業規模や対象範囲は利用を 会環境にあっているか?	者ニーズや社		→ 一端的に行うことが必要であり、関係機関と連携した対応の必要性は高いと考えられます。								
有事務事業は、施策達成に貢献効	事務事業は、施策達成に貢献するか?		「石口圧だ日夜地域、砂正木の圧山は、圧木の同反に守に広域物が波点のかり、内では関しの一								
	期待どおりの成果が得られているか?		連携により、企業の進出意欲を高めるための効果的なPR活動が実施できていると考えます。								
効 車 世 性		1 1	関係機関と連携することにより、本組合単独での実施の場合と比較し、低コストで多数の来場者にPRすることができました。								

4 ACTION(取組)

	28年度以降の方向性			判断理由			
施策評価結果		成果	コスト	刊劇程田			
心來計圖和未	継続	維持	維持	企業誘致のため関係機関と連携し、より効率的で効果的なPR活動を			
		取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を 維持する。		討しながら進める必要があるため。			
	課題			28年度以降の取組			
名古屋港及び背後地域行い、名古屋港の認知 欲は、社会経済情勢に るとともに、タイミングを	度を高める必要か 影響を受けるため	があります。また、)、企業のニーズ。	企業の進出意 と的確に把握す	引き続き関係機関と連携し、名古屋港背後圏への企業進出意欲の向上を図るとともに、企業誘致を推進する自治体等に対する名古屋港のPRや、企業進出ニーズの把握を行います。			